



大沼周辺の国有林では、原生林の再生を目指し、自然再生推進事業が実施されています。このためのボランティア活動(森林整備等)をされる団体を募集しています。詳しくは、以下までお問い合わせ下さい。

塩那森林管理署森林ふれあい係
☎0287-28-3125

また、塩原温泉ビジターセンターの主催により、自然観察会が開催されています。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

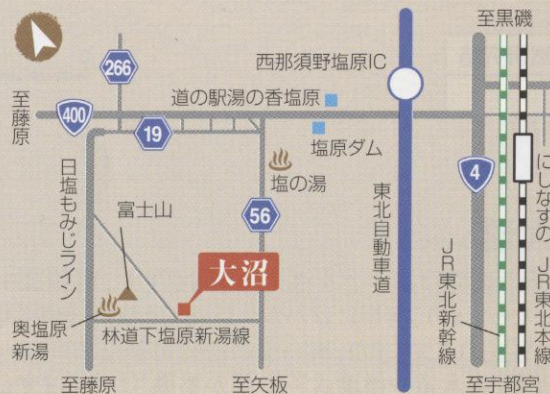
塩原温泉ビジターセンター
住所/那須塩原市下塩原前山国有林
☎0287-32-3050

大沼周辺の森林整備や自然観察会に参加してみませんか。

富士山・大沼自然観察教育林周辺

富士山や大沼周辺の国有林では、高原山系の火山活動に伴う亀裂群等の地形に起因し、多くの湿地が形成されるなど、特徴ある景観と生態系が見られます。富士山や大沼、ヨシ沼には遊歩道が整備されており、また、「大沼の森」は、森林浴の森100選にも選定されています。

大沼の位置



このパンフレットに関するお問い合わせ先

塩那森林管理署

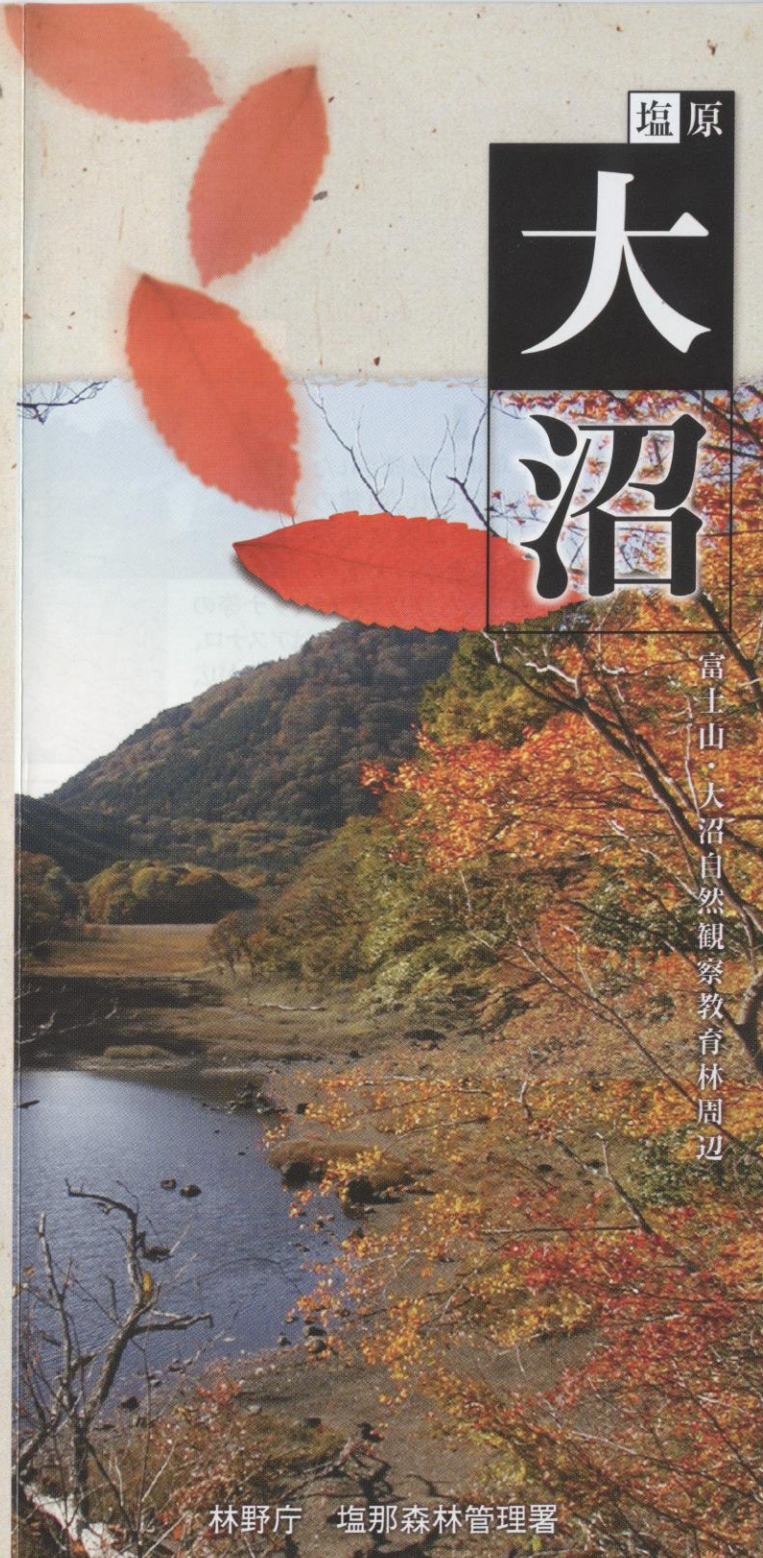
大田原市宇田川1787-15
☎ 0287-28-3125

<http://www.kanto.kokuyurin.go.jp/enna/index.html>

平成18年8月20日発行

大沼

富士山・大沼自然観察教育林周辺



富士山 ふじやま

富士山は、約6千年前に形成された溶岩ドームであると言われ、西麓の新湯の爆裂火口跡では噴気孔が見られます。新湯温泉から大沼への遊歩道が整備されており、ミズナラ、ブナ等の落葉広葉樹林を抜けると、山頂部にはアスナロ、ネズコ、サワラを中心とした常緑針葉樹林が広がり、原生的な自然と植生の変化を観察することができます。



ヨシ沼 よしぬま

ヨシ沼は、沼の大部分がヨシの群生地であり、ミズゴケやミツガシワ、ヒツジグサなども見られるほか、我が国最小のトンボであるハッチョウトンボの棲息地となっており、沼を一周する遊歩道も整備されています。

大沼 おおぬま

大沼の東側は通年水を湛え魚類も棲息し、西側はヨシ群落となっており、南岸にはハルニレ、ミズナラ、ブナ等の巨木群が見られます。また、車いすの通行可能なユニバーサルデザインの木道や循環式トイレ等が整備されています。

小沼 こぬま

融雪期や大雨の後に湛水する中央部は、オオカササゲの群落となっており、西岸にはハルニレ群落、シカのヌタ場(泥浴び場)も見られます。



	塩原自然研究路
	(木道)

赤沼 あかぬま

赤沼は、水のない時期があり魚類は棲息しませんが、県レッドリスト掲載種であるモリアオガエルやクロサンショウウオ等の両生類の貴重な棲息地になっています。
※保護林計画区域内であり、遊歩道等はありません。



モリアオガエルの産卵

クロサンショウウオの幼生

